



日本共産党  
神奈川県会議員  
(中原区)

# 君嶋ちか子の すまいる通信

## 県政報告

2018年3月・4月  
第11号

<発行連絡先>  
日本共産党  
神奈川県議団

横浜市中区日本大通り1  
Tel 045-210  
7882

### 津久井やまゆり園 「希望に応じて設計 変更を行う」と知事

津久井やまゆり園について、神奈川県は、同規模の施設を建て替えることを予定しましたが、「障がい者は施設ではなく、地域で暮らせるようにすべき」という意見が多く寄せられ、2か所に分散させる案に変更しました。

それぞれ88人規模とされています。どちらに住みたいかという意思確認には2年を要する予定で、一方の施設に88人を超える希望者が出た場合にどうするか、というのが焦点でした。

今回知事の口から「その時点で設計変更する」との答弁を得たのは利用者や家族にとって、大きな安心材料です。

地域移行の流れは尊重しつつ、突然の事件で住まいを奪われた利用者には、あくまでも希望する場所を確保することが本筋、と君嶋議員は訴えました。

### 指定管理者の現場 「君嶋議員の提起を参考に」 と健康福祉局長

津久井やまゆり園では、あの事件以来、特異な状況が続いています。突然の事件、傷を負いながら体育館などで生活、建て替えのための移転、

慣れない場所での生活等々、利用者の不安やストレスは増していました。当然職員の困難も増していました。日中体制に無理がある、残業代が支払われていないなどの声もありました。

## 2月一般質問 貴重な成果が

それに対し、適切な改善を図るため、君嶋議員が提起した労働条件審査も参考にすると健康福祉局長が答えました。

労働条件審査というものは社会保険労務士会などが行っている取組みです。指定管理者等公務を担う民間の現場で、労働環境に問題があれば、良質なサービスの提供は難しいとして、第三者が労働条件等のチェックや改善の提案などを行う制度です。

### 加齢児、「可能な限り 成人施設に入所調整する」 と知事

18歳を超えても成人施設での受け入れが叶わず、障がい児施設で暮らす「加齢児」が県所管域施設で48名もいます。原則的には退所を求められ、行き先が見えない状態です。

県立障がい者支援施設の定員682名に対し、在籍は619名にとどまっていることを示しながら、入所先の調整を行うこと、今後の県内受け入れ方針を明確にすることを、君嶋議員が求めたのに対し、可能な限りの調整を行うことを約束しました。



質問する君嶋県議

裏に続く

### 県議会を 傍聴

上小田中 S・H

今回で2回目となる県議会傍聴。君嶋さんの質問の中で、黒岩知事が力を入れている「ヘルスケア・ニューフロンティア政策」は、広く県民に行き渡らせる政策とは言えない」と批判し、「他に県民の病气予防や貧困対策、教育・福祉など優先すべき具体的支援事業が必要と考えるが」と知事の見解を求めました。

知事は痛いところを突かれたのか、答弁を早口でまくしたて、その態度に他の多くの議員から失笑がこぼれました。君嶋議員の2回目の質問では、フロンティア政策には触れず、その他の質問項目について、答弁の前向きな部分を抜き出して確認したのは、知事のやる気を起こさせる作戦にでたと感じました。



## 県政報告会 開催のお知らせ

日時：4月28日(土) 午後2時～  
場所：エポック中原7F 大会議室

県政や県議会の変化、3年間の成果などお伝えします。  
黒岩県政と県議会の問題もいよいよ明らかに！